

一般社団法人

国立大学協会

The Japan Association of National Universities

2025



一般社団法人

国立大学協会

The Japan Association of National Universities

会長あいさつ



一般社団法人 国立大学協会
会長 藤井 輝夫（東京大学長）

国立大学は、わが国の発展を支える「知の拠点」として重要な役割を担っています。これからも常に新たな知を生み続けるとともにその活動を強化し、社会や国民の皆さまと対話しながら、わが国の「知の総和」の向上に国立大学全体として貢献してまいります。

現在、日本は急速な人口減少や産業競争力の低下などさまざまな課題に直面しています。これらを乗り越え、国民一人ひとりのウェルビーイングを達成するために、わが国全体の知のレベルを向上させること、産業のイノベーションにつながる先端研究を推進すること、地域の活性化・地方創生に係わることが求められています。

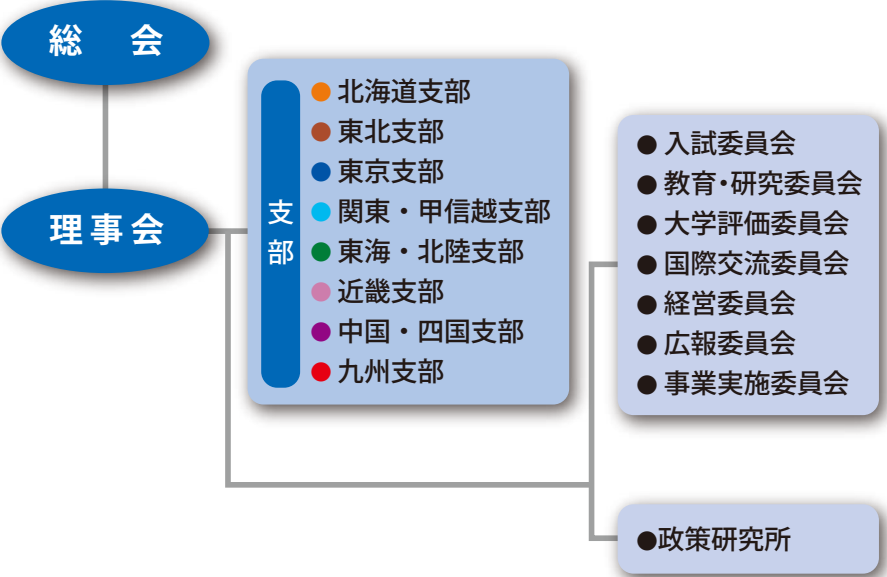
そこで国立大学協会は、2025年3月に、2040年を見据えた「わが国の将来を担う国立大学の新たな将来像」を公表しました。本将来像では、全国に創り上げてきた「知の拠点」たる85の国立大学全体が「国立大学システム」として、イノベティブな日本社会の創造に挑戦するために取り組むべき施策を「決意」として示しました。

具体的には、①地方や女性の進学率向上のほか、留学生を定員の3割に拡大して世界から多様な頭脳を導入すること、②世界最先端研究を担い、多様な分野で活躍し得る博士号取得者数を3倍に増加させること、③大学間連携を図りつつ地方創生に主導的役割を果たすこと、④大学病院の研究環境整備や研究者処遇の適正化のほか、教員養成における質の高度化にも取り組むこと、⑤研究者全体の層の拡充や研究環境の高度化を図ること、⑥国公私立大学間の連携による高等教育全体のレベルアップや女性活躍促進、障害のある者等を含む共生社会を実現することなどを目指します。

この「決意」を実現するにあたって、国立大学間や各地のステークホルダーの皆さまとの間で真摯かつ十分な議論を行ってまいります。各大学の特色を生かした上で、「国立大学システム」総体としても期待される役割と有する機能の最大化を果たしていく覚悟です。

最後に、国立大学の存在意義は社会の発展と国民の幸福にあり、教育・研究をはじめとする国立大学の活動の一番の受益者は国と国民全体です。社会や国民の皆さまとのコミュニケーションをより豊かにして国立大学の活動にご理解をいただき、わが国社会の高度化につながる未来への投資として皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組織図



役員等名簿

2025年6月25日現在

会長(理事)	藤井 輝夫	【東京大学長】	◎ 大学評価委員会
副会長(理事)	寶金 清博	【北海道大学長】	◎ 経営委員会
	越智 光夫	【広島大学長】	◎ 入試委員会
	梅原 出	【横浜国立大学長】	◎ 広報委員会 / ◎ 政策研究所運営委員会
	喜納 育江	【琉球大学長】	広報委員会
専務理事	林 佳世子	【前東京外国語大学長】	広報委員会
常務理事	村田 善則	【国立大学協会事務局長】	◎ 国際交流委員会
顧問(理事)	永田 恭介	【筑波大学長】	入試委員会
理事	松田 瑞史	【室蘭工業大学長】	教育・研究委員会
	富永 悌二	【東北大学長】	入試委員会
	三浦 浩喜	【福島大学長】	国際交流委員会
	大竹 尚登	【東京科学大学理事長】	広報委員会
	佐々木 泰子	【お茶の水女子大学長】	経営委員会
	横手 幸太郎	【千葉大学長】	◎ 事業実施委員会
	松尾 清一	【東海国立大学機構長】	教育・研究委員会
	和田 隆志	【金沢大学長】	入試委員会
	伊藤 正明	【三重大学長】	◎ 教育・研究委員会
	湊 長博	【京都大学長】	経営委員会
	熊ノ郷 淳	【大阪大学長】	教育・研究委員会
	塩崎 一裕	【奈良先端科学技術大学院大学長】	大学評価委員会
	佐古 秀一	【鳴門教育大学長】	経営委員会
	石橋 達朗	【九州大学長】	大学評価委員会
	小川 久雄	【熊本大学長】	事業実施委員会
	鮫島 浩	【宮崎大学長】	事業実施委員会
	永田 敬	【総合研究大学院大学長】	広報委員会
	岡本 幾子	【大阪教育大学長】	国際交流委員会
	那須 保友	【岡山大学長】	
監事	春名 展生	【東京外国語大学長】	
	受田 浩之	【高知大学長】	
会長補佐	長谷山 彰	【北海道国立大学機構理事長】	
	南谷 佳弘	【秋田大学長】	
	田野 俊一	【電気通信大学長】	
	中村 和彦	【山梨大学長】	
	小畑 誠	【名古屋工業大学長】	
	竹村 彰通	【滋賀大学長】	
	川合 真紀	【自然科学研究機構長】	

事業内容

国大協の目的（定款第4条）

各国立大学法人が実施する教育・研究及び社会貢献に関する多種・多様な活動において、質の高い成果を挙げるための環境作りを行い、もって国立大学法人の振興と我が国の高等教育・学術研究の水準の向上及び均衡ある発展に寄与する。

国大協の事業（定款第5条）

- (1) 国立大学が質の高い教育、学術研究及び社会貢献を推進するために必要な事業
- (2) 自主的政策立案、国の高等教育政策や学術研究政策等に関する政策提言のための調査研究
- (3) 国際パートナーシップを基本とした国際交流事業
- (4) 国立大学法人の経営に関する支援
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

主な活動（2024年度）

総会・理事会

- ・総会（6月、11月、1月、3月）
- ・理事会（4月、5月、7月、10月、12月、2月）

要望・提言活動等

- ・「国立大学協会声明－我が国の輝ける未来のために－」を発表（6月）
- ・「国立大学グローバル化アクションプラン－国際社会における共創へのリーダーシップを発揮するために－」（NUGLAP: National Universities Global Leadership Action Plan）を公表（6月）
- ・令和7年度予算における国立大学関係予算の充実及び税制改正等に関する要望書を提出（8月、12月）
- ・「わが国の将来を担う国立大学の新たな将来像」を発表（3月）



第2回通常総会を開催（秋田）



盛山文部科学大臣（当時）に
要望書を提出

国際活動等

- ・日韓交流事業 Korea Japan University Presidents' Forum に協力（韓国・ソウル）（9月）
- ・中国高等教育学会主催 2021 International Forum on Higher Education に参加（中国・北京）（10月）
- ・カナダ大学協会（Universities Canada）と協力協定を締結（11月）
- ・ドイツ大学学長会議（HRK）が国立大学協会に来訪（11月）
- ・IAU国際会議へ出席（日本・東京）（11月）
- ・日豪交流事業 Australia-Japan Research and Collaboration Forum を開催（オーストラリア・キャンベラ）（11月）



カナダ大学協会（Universities Canada）と
協力協定を締結（11月）



広報誌等を刊行

セミナー・研修等

- ・国立大学法人等担当理事等連絡会議（6月）
- ・国立大学法人等部課長級研修（7月）
- ・「CBTを活用した入学選抜」及び「入試業務負担軽減」に係るセミナー（7月）
- ・国立大学法人トップセミナー（8月）
- ・ユニバーシティ・デザイン・ワークショップ（9月）
- ・国立大学法人等担当理事等連絡会議（11月）
- ・国立大学法人等広報担当者連絡会（11月）
- ・国立大学法人等若手職員勉強会（12月）
- ・大学改革シンポジウム（1月）
- ・国立大学法人新任学長（就任予定者）セミナー（2月）

刊行物等・広報活動

- ・広報誌「国立大学」（7月、11月、3月）
- ・広報誌「国立大学」別冊（7月）
- ・論説委員等との懇談会（10月）

協会の構成員

国立大学協会は、全国81国立大学法人、85大学と
4研究機構により構成されています。

知の 総和

●正会員 (81国立大学法人、85大学)

北海道支部 (5法人、7大学)

北海道、北海道教育、室蘭工業、
北海道国立大学機構
(小樽商科、帯広畜産、北見工業)、
旭川医科

東北支部 (7法人、7大学)

弘前、岩手、東北、宮城教育、秋田、
山形、福島

東京支部 (11法人、11大学)

東京、東京外国語、東京科学、東京学芸、
東京農工、東京藝術、東京海洋、
お茶の水女子、電気通信、一橋、
政策研究大学院

関東・甲信越支部 (14法人、14大学)

茨城、筑波、筑波技術、宇都宮、群馬、埼玉、千葉、
横浜国立、総合研究大学院、新潟、
長岡技術科学、上越教育、山梨、信州

東海・北陸支部 (11法人、12大学)

富山、金沢、北陸先端科学技術大学院、
福井、静岡、浜松医科、
東海国立大学機構(岐阜、名古屋)、
愛知教育、名古屋工業、
豊橋技術科学、三重

中国・四国支部 (10法人、10大学)

鳥取、島根、岡山、広島、
山口、徳島、鳴門教育、
香川、愛媛、高知

近畿支部 (12法人、13大学)

滋賀、滋賀医科、京都、京都教育、
京都工芸繊維、大阪、大阪教育、
兵庫教育、神戸、
奈良国立大学機構
(奈良教育、奈良女子)、
奈良先端科学技術大学院、
和歌山

九州支部 (11法人、11大学)

福岡教育、九州、九州工業、
佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、
鹿児島、鹿屋体育、琉球

●特別会員 (4研究機構)

人間文化研究機構、自然科学研究機構、
高エネルギー加速器研究機構、
情報・システム研究機構



電車

◎東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線/都営地下鉄新宿線
「神保町駅」下車 (A8出口から徒歩3分)

◎東京メトロ東西線
「竹橋駅」下車(1B出口から徒歩4分)

車

◎首都高速道路

代官町

神田橋

一ツ橋(5号線のみ)



インターチェンジをご利用下さい。



一般社団法人

国立大学協会

<https://www.janu.jp/>